

発行日 2007/7/1

発行 まつだこどもクリニック

まつだこどもクリニックニュース

<http://www.matsuda-kodomo.com>

診療のご案内

●診療時間

【午前】 9:00～12:00

【午後】 16:00～19:00

※14:00～16:00は専門外来（予約制）。各種予防接種、乳幼児検診、ペリネイタルビジット

●休診日

木曜日午後、土曜日午後、日祝日

7月のクリニック休診日

★専門外来の休診

7月3日（火）

八千代町の4ヶ月健診、BCG予防接種のため休診

7月4日（火）

下妻市5ヶ月健診のため休診

7月10日（火）

八千代町3歳児健診のため休診

7月13日（金）

下妻市3歳児健診のため休診

★一般外来の休診

7月の外来休診はありません。

心臓外来のお知らせ

●実施場所

茨城西南医療センター病院内
（茨城県猿島郡境町2190）

●診察日

7月12日（木）、7月26日（木）

いずれも午後1時30分から。

※以降の日程は随時ホームページでお知らせいたします。

●予 約

心臓外来は予約制です。予め茨城西南医療センター病院まで予約をお願いします。

TEL0280-87-8111

まつだこどもクリニックからの最新のニュースです。
携帯からもどうぞ →→→



特集 ● 夏風邪について

小児科では、季節により特有の病気があります。

これから、夏に向かって、手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎などが流行り始めます。今回は、手足口病、ヘルパンギーナについて考えてみましょう。

手足口病

手足口病は、その名前の通り口腔粘膜及び四肢末端に水疱を生じる発疹性の病気です。原因は、主としてコクサッキーウィルス A16型とエンテロウィルス 71型の感染です。潜伏期間は数日から約1週間程度で主に飛沫感染です。好発年齢は、乳幼児に多く（大人でも感染することがあります）、原因となるウィルスが複数あるために再発する事が多く、治療方法は、対症療法で、特異的な治療方法はありません。症状は、発熱、口の中の痛みを伴う水疱（口内炎）と手足やおしりの発疹、水疱が主体です。手足の水疱は、皮膚の比較的深いところに出来るために、水痘（みずぼうそう）と異なり、破れることはなく消えます。発熱は38℃程度で、期間は、普通数日程度です。ウィルスは、便の中にも排泄されますが、普通は感染力が強くないので、全身状態が安定すれば感染源になるとは考えにくいと言われています。出席停止の病気ですが、感染経路の殆どは、咽頭でのウィルスの増殖期間中の飛沫感染ですので、全身状態が安定すれば登校は可能です。

ヘルパンギーナ

主に口の中に丘疹、水疱、潰瘍を作る病気で、手足口病と同様に乳幼児に多い、夏風邪の代表的な病気です。原因は、主にコクサッキーA群のウィルスですが、他のエンテロウィルスによってもなります。潜伏期間は、数日から約1週間程度で、感染経路は飛沫感染です。手足口病と同様に糞便中にもウィルスは排泄されますが、感染源となるのは、咽頭からのウィルスが中心ですので発症後数日とされています。治療方法は、特異的なものではなく、対症療法が中心となります。症状は、発熱（39℃以上）、咽頭痛、嚥下痛が主なものです。特に小さいお子さんでは、のどの痛みで食欲が無くなり、よだれが多くなります。発熱期間は、数日程度が多いので、この間は、喉越しの良いものを与えるようにしましょう。

今回は「咽頭結膜熱」「流行性角結膜炎」について考えてみたいと思います。



(1) ペリネイタル ビジットって何？



プレネイタル ビジット（出生前小児科訪問）が最初に使われ、その後ペリネイタル ビジット（周産期小児科訪問）へと言葉が変わってきました。適当な日本語がありませんが、この様に言われています。出産を控えた妊婦さんが出産前に小児科を訪れて、出生後の赤ちゃんを診てくれる小児科医と今後のことについて話し合う機会を設けましょうと言うものです。話の内容は、小児科医それぞれによってまちまちです。大切なのは、出産前に今後お子さんが病気になった時に診てもらおう小児科の先生と親御さんが知りあえる事です。当院は、今の所宇津野医院との診診連携で小児科からの胎児診断、新生児回診、管理、母乳育児に取り組んでいます。

(2) 専門外来とは？



日本小児科学会では、一般診療と予防接種、乳幼児健診は時間的にも空間的にも分けて診療することを提言しています。その為、当クリニックでも専門外来の時間を設けて、一般診療と分けています。本来ならば、場所も分けたのですが、残念ながらクリニック自体が狭いために空間的に分ける事が出来ないのです、せめて時間だけでも分けての診療です。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご了承下さい。また、市町村の乳幼児健診、予防接種などで、時々専門外来を休みますが、これもご了承下さい。いずれ、土曜日の午後にも専門外来（予防接種のみ）の時間を設けたいと考えています。ペリネイタル ビジットについては、既に書いたとおりです。



七夕笹飾り。みんなの願い事が叶いますように！

●心臓外来を始めました

茨城県の学校心臓検診に今年も参加しています。学校保健法で、小学校1年生、中学1年生は全員心臓検診を受ける事になっています。毎年、4月になると新入生は新学期が始まってからすぐに全員心電図の検査を受けると思います。心電図、心音図に異常もしくは異常かもしれないと思われる所見があると2次健診に呼ばれます。保健センター、市庁舎などを借りて精密検査をします。そこで異常がなければ終わりますし、場合によっては管理表を渡され翌年の2次健診を受けるように言われる事があります。人によっては、もう少し詳しい検査が必要になる場合があり、病院の受診（3次健診）を勧められます。6月に臨時休診が多く、ご迷惑をお掛けしていますがこういった事情からでするのでご理解下さい。当院は残念ながら心電図、超音波といった設備がありません。6月から茨城西南医療センター病院のご厚意で心臓外来をさせて頂く事になりました。3次健診を勧められたお子さんは、どうぞご利用下さい。また市町村の乳幼児健診等で心雑音を指摘されたり、詳しい検査を勧められたお子さんもどうぞご利用下さい。予約制になりますので茨城西南医療センター病院小児科に直接電話して下さい。

Staff's Voice



こんにちは。まつだ こどもクリニック スタッフの石崎美雪（いしざき みゆき）です。受付をしています。いつの間にか医療事務歴12年に成りました。こども専門のクリニック勤務は、初めてで、戸惑うことが多く、毎日無我夢中で勤務していましたが、開院後3ヶ月目に入り、徐々に慣れて来ました。病気で来院されるお子さん、親御さんの不安な気持ちを少しでも解消できるように、より多くの専門知識を身につけて、明るく笑顔で接して行きたいと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。何かありましたら、お気軽に声をかけて下さいね。

●編集後記



開院後あっという間に3ヶ月が経ちました。季節も良くなり、いよいよ夏の到来を感じさせます。小児科は、季節性が感じられる診療科です。特集でも書きましたように、手足口病、ペルバンギエラ、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎などを外来で見かける様になると、毎年の事ですが、今年も夏が来たかと実感させられます。私の場合は、もう一つあります。学校心臓検診が終わるとこれもまた夏の到来を感じさせます。

（院長 松田恭寿）